

令和元年度 住民意識調査報告書



令和2年 4月

高 根 沢 町

目 次

第1章 住民意識調査結果の概要	・ ・ ・ ・ ・ 1
第2章 単純集計結果	・ ・ ・ ・ ・ 2
第3章 クロス集計結果	・ ・ ・ ・ ・ 8
第4章 住民意識調査に対する分析	・ ・ ・ ・ ・ 14
参考資料「住民意識調査票」	・ ・ ・ ・ ・ 19

第1章 住民意識調査結果の概要

(1) 調査目的

町では、平成28年2月に策定した「高根沢町地域経営計画2016」（平成28年度～令和7年度の10年間の計画）に基づき、町政運営を進めてきました。

10年間の計画のうち、前期5年間の「前期計画」が令和2年度で終了しますので、令和3年度から始まる次期5年間の計画である「後期計画」の策定に向けて検討をはじめました。

「後期計画」の検討に際しては、町民の皆さんのご意見を十分に反映した計画にすることが重要であるため、「前期計画」に基づいて行ってきた、まちづくりに対する評価や、今後優先すべき施策等に関して、意識調査を実施しました。

(2) 調査対象

①調査対象・対象者数

20歳以上の町民2,000人を調査対象

②抽出方法

住民基本台帳から年齢及び学区ごとに無作為抽出

(3) 調査期間と調査方法

①調査期間

令和2年2月10日（月）～令和2年2月28日（金）

②調査方法

郵送配布、郵送回収

(4) 回収状況

906票回収（回収率：45.3%）

※前回（平成25年度調査）887票（回収率：44.4%）

※前々回（平成21年度調査）920票（回収率：46.0%）

(5) その他

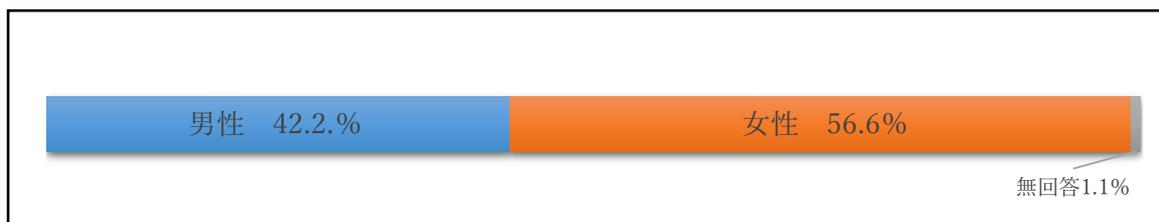
比率は、端数処理の関係で、合計が100%にならないケースもあります。

（*小数点第2位以下切捨て）

第2章 単純集計結果

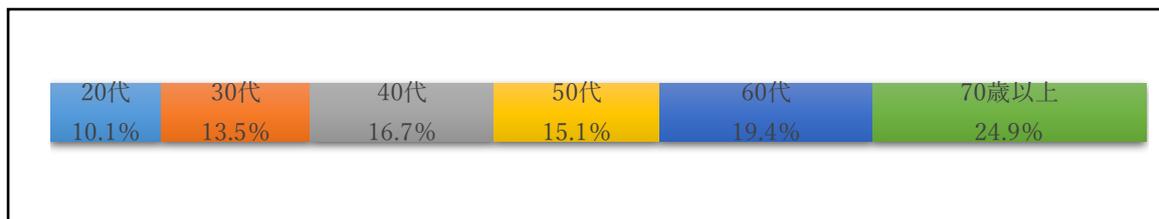
問1 回答者の性別

回答者の性別は、「男性」が42.2%、「女性」が56.6%であり、「女性」の回答率が「男性」を14.4%上回りました。



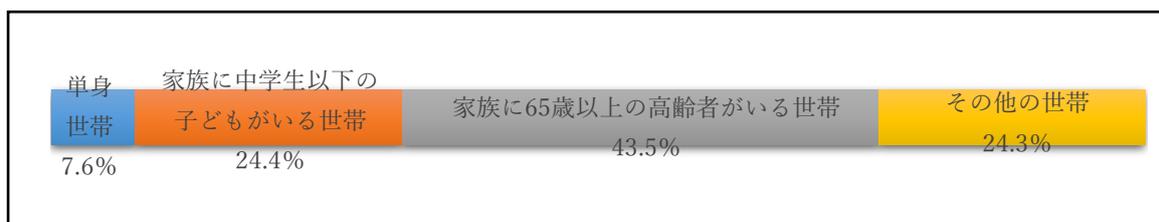
問2 回答者の年齢

回答者の年齢は、「70歳以上」が24.9%と最も高く、次いで「60代」が19.4%、「40代」が16.7%、「50代」が15.1%であり、50代以上の回答が約6割を占めました。



問3 回答者の世帯構成

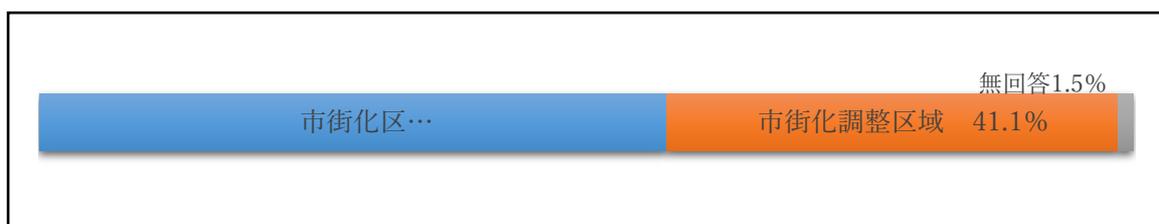
回答者の世帯構成は、「家族に65歳以上の高齢者がいる世帯」が43.5%と最も高く、次いで「家族に中学生以下の子どもがいる世帯」が24.4%、「その他の世帯」が24.3%でした。



※複数回答あり

問4 回答者の居住地（区域）

回答者の居住地（区域）は、「市街化区域」が57.2%、「市街化調整区域」が41.1%であり、「市街化区域」が「市街化調整区域」を16.1%上回りました。



問5 回答者の居住地（学区）

回答者の居住地（学区）は、「阿久津小学校区」が30.7%と最も高く、次いで、「西小学校区」が22.5%、「中央小学校区」が15.8%でした。



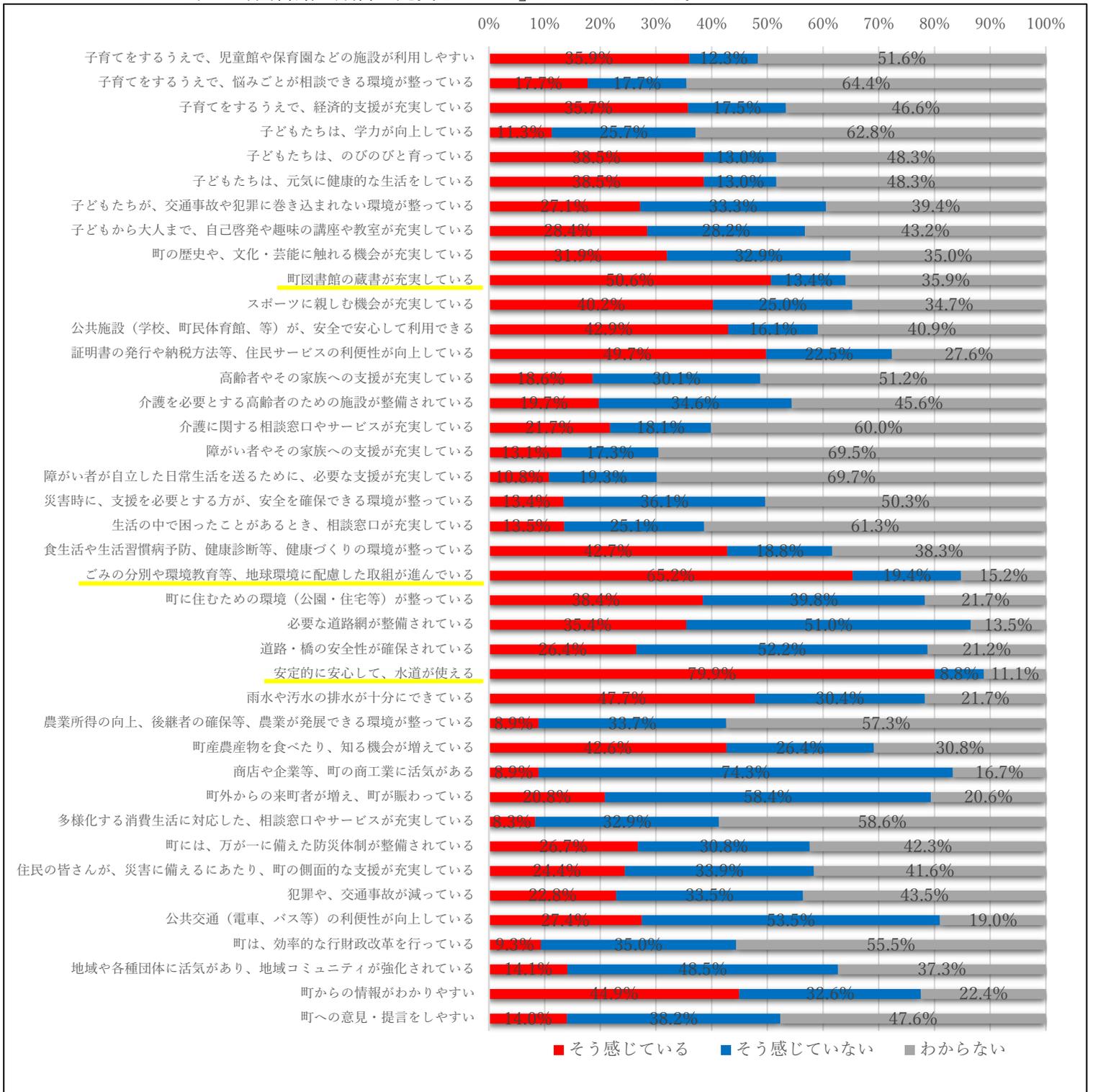
問6 回答者の愛着度

回答者の愛着度は「愛着を感じている」が45.5%と最も高く、次いで、「少し愛着を感じている」が33.1%、「さほど愛着を感じていない」が15.3%でした。愛着を感じていると答えた方が約8割を占めました。



問7 回答者の実感度について

地域経営計画2016に掲げる40の施策について、実感度を調査した結果、回答者が「そう感じている割合」は、「安定的に安心して、水道が使える」が79.9%と最も高く、次いで、「ごみの分別や環境教育等、地球環境に配慮した取組が進んでいる」が65.2%、「町図書館の蔵書が充実している」が50.6%でした。



※「そう感じている」「そう感じていない」「わからない」以外は「無回答」

◆実感度のランキング（前回調査との比較）

実感度＝「そう感じている」人の割合－「そう感じていない」人の割合

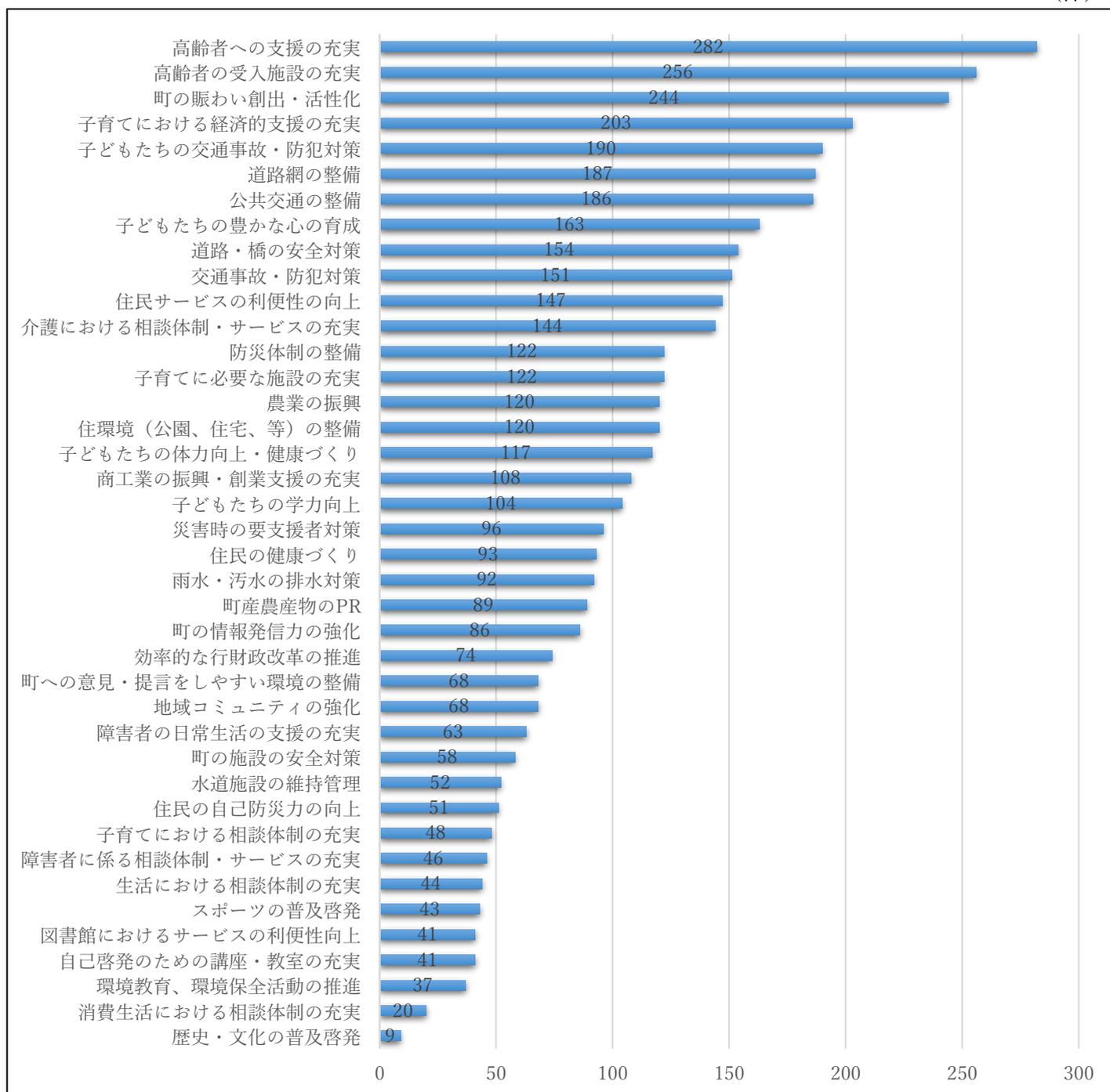
順位	今回：令和元（2019）年度	実感度	前回（平成25年度調査）との比較	
	生活課題			
1	安定的に安心して、水道が使える	71.1%	↗	6.9%
2	ごみの分別や環境教育等、地球環境に配慮した取組が進んでいる	45.7%	↘	-2.1%
3	町図書館の蔵書が充実している	37.2%	↘	-4.9%
4	多様化する消費生活に対応した、相談窓口やサービスが充実している	27.2%	↑	10.4%
5	公共施設（学校、町民体育館、等）が、安全で安心して利用できる	26.8%	↗	9.2%
6	子どもたちは、のびのびと育っている	25.4%	↘	-5.4%
7	子どもたちは、元気に健康的な生活をしている	25.4%	↓	-10.2%
8	食生活や生活習慣病予防、健康診断等、健康づくりの環境が整っている	23.9%	↓	-18.9%
9	子育てをするうえで、児童館や保育園などの施設が利用しやすい	23.5%	↗	1.5%
10	子育てをするうえで、経済的支援が充実している	18.2%	↑	25.1%
11	雨水や汚水の排水が十分にできている	17.2%	↓	-10.9%
12	町産農産物を食べたり、知る機会が増えている	16.2%	↗	6.3%
13	スポーツに親しむ機会が充実している	15.2%	↑	23.8%
14	町からの情報がわかりやすい	12.2%	↓	-13.3%
15	介護に関する相談窓口やサービスが充実している	9.4%	↑	17.3%
16	子どもから大人まで、自己啓発や趣味の講座や教室が充実している	0.2%	↑	23.1%
17	子育てをするうえで、悩みごとが相談できる環境が整っている	0.0%	↗	2.5%
18	町の歴史や、文化・芸能に触れる機会が充実している	-1.0%	↑	40.2%
19	町に住むための環境（公園・住宅等）が整っている	-1.3%	↘	-7.7%
20	町には、万が一に備えた防災体制が整備されている	-4.1%	↗	4.5%
21	障がい者やその家族への支援が充実している	-4.2%	↗	3.8%
22	子どもたちが、交通事故や犯罪に巻き込まれない環境が整っている	-6.2%	↓	-42.5%
23	障がい者が自立した日常生活を送るために、必要な支援が充実している	-8.4%	↗	3.4%
24	住民の皆さんが、災害に備えるにあたり、町の側面的な支援が充実している	-9.4%	↘	-0.3%
25	犯罪や、交通事故が減っている	-10.6%	↗	2.2%
26	高齢者やその家族への支援が充実している	-11.4%	↓	-19.4%
27	生活の中で困ったことがあるとき、相談窓口が充実している	-11.6%	↑	12.1%
28	子どもたちは、学力が向上している	-14.4%	↓	-27.2%
29	介護を必要とする高齢者のための施設が整備されている	-14.8%	↘	-6.6%
30	必要な道路網が整備されている	-15.5%	↓	-10.5%
31	災害時に、支援を必要とする方が、安全を確保できる環境が整っている	-22.7%	↓	-22.5%
32	町への意見・提言をしやすい	-24.2%	↗	1.2%
33	多様化する消費生活に対応した、相談窓口やサービスが充実している	-24.5%	↑	12.4%
34	農業所得の向上、後継者の確保等、農業が発展できる環境が整っている	-24.7%	↘	-0.4%
35	町は、効率的な行財政改革を行っている	-25.7%	↘	-9.7%
36	道路・橋の安全性が確保されている	-25.8%	↓	-20.9%
37	公共交通（電車、バス等）の利便性が向上している	-26.1%	↓	-25.5%
38	地域や各種団体に活気があり、地域コミュニティが強化されている	-34.3%	↗	3.6%
39	町外からの来町者が増え、町が賑わっている	-37.6%	↑	21.1%
40	商店や企業等、町の商工業に活気がある	-65.4%	↗	6.1%

※ ↑：10%以上増加 ↗：10%未満増加 ↓：10%以上減少 ↘：10%未満減少

問8 町が優先して取り組むべき施策について

今後5年間で、町が優先して取り組むべきと思う施策について調査した結果、回答者が「町が特に優先して取り組むべきと思う施策」は、「高齢者への支援の充実」が282件と最も高く、次いで、「高齢者の受入施設の充実」が256件、「町の賑わい創出・活性化」が244件、「子育てにおける経済的支援の充実」が203件でした。

(件)



※1人につき、5つ選択

問9 自由意見欄へのご意見

今回の調査に寄せられたご意見などは述べ 315 件ありました。内容は実に様々であり、町民の皆さんの行政に対する関心や期待の大きさを感じるとともに、皆さんの生活において充足できていない部分をご指摘いただくことができました。

分野別に見ると、都市整備・上下水道・産業分野への記載が最も多く、その内容は、町の活性化やキリンビール工場の跡地利用、商業施設や飲食店等の活性化、道路の老朽化に対する対応に関することが多く見受けられました。

自由意見の一部を紹介します。

◆各分野に対する具体的な意見（※内容は要約しています。）

■子ども・教育・生涯学習分野

- ・住みやすい環境だと思うが、具体的な施策の**情報**が乏しい。
- ・**子育て**における親の不安・ストレスに対する支援を充実させてほしい。
- ・小学校でクラス替えができない。**統廃合を含め学校の在り方**を検討するべき。
- ・子育てにおける**経済的支援**が充実しており、恵まれた状況であると思う。

■住民生活・福祉・環境分野

- ・**高齢者**に対する生活支援やサービスを充実させてほしい。
- ・高齢者がいきいきと生活できるよう、**健康増進策**を充実させてほしい。
- ・宇都宮市に近く、利便性が良い。より住みやすい町にしてほしい。

■都市整備・上下水道・産業分野

- ・市街地の道路が狭い。歩行者に配慮した**道路網**の整備を進めてほしい。
- ・キリンビールの跡地の利用促進・企業の誘致等**地域活性化**を図ってほしい。
- ・おいしい農産物がいっぱいあるので、**日本中に広めて**ほしい。
- ・宝積寺駅前の賑わい創出が町の活性化につながっている。

■町政運営・地域自治・地域安全分野

- ・**災害**に強い町にしてほしい。
- ・情報をどのように伝え、周知させるかが課題。**発信力**を向上させてほしい
- ・免許自主返納後の代替交通として、**デマンド**バスの利便性を向上させてほしい。
- ・犯罪や事故の少ない、子どもたちにとって**安全、安心な町**づくりをしてほしい。

※分野は「地域経営計画 2016 前期計画」における大分類 4 分野を記載

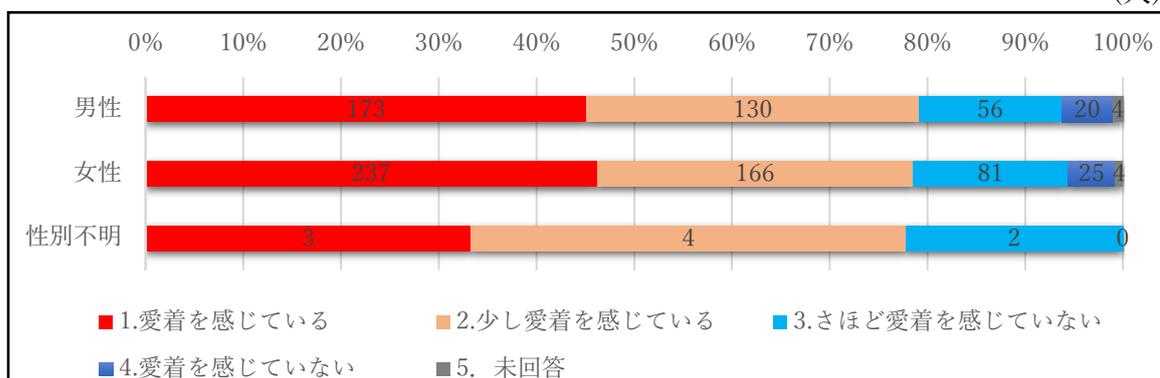
第3章 クロス集計結果

問6 回答者の愛着度

◆男女別

「愛着を感じている」、「少し愛着を感じている」と答えた方の割合は、男性が79.1%、女性が78.5%であり、男女共に約8割を占め、男女間での差はほとんどありませんでした。

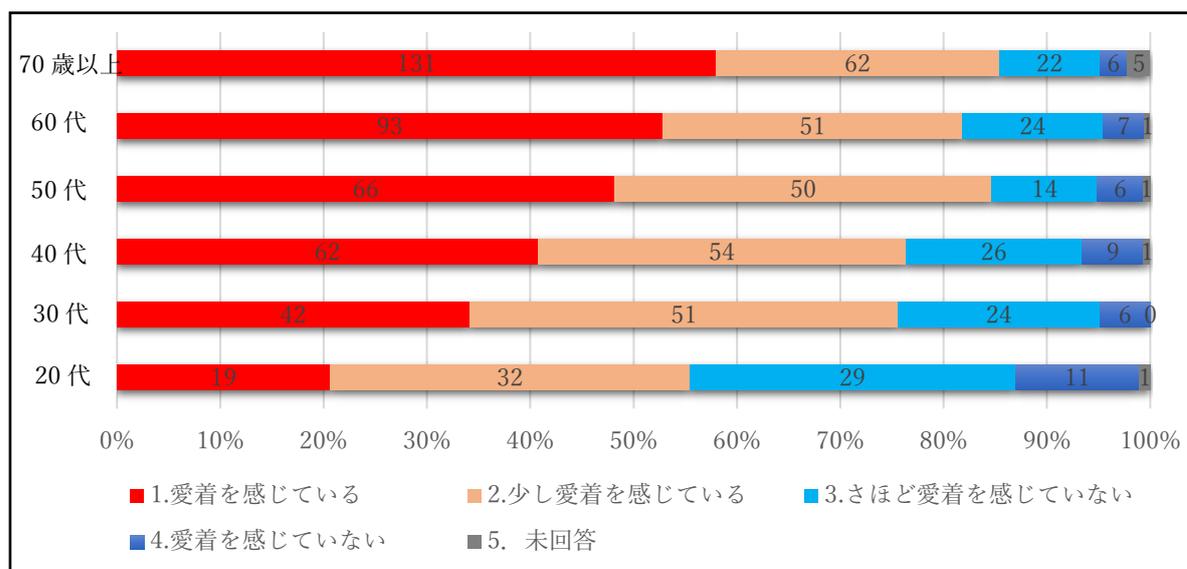
(人)



◆年齢別

「愛着を感じている」、「少し愛着を感じている」と答えた方の割合は、70歳以上で85.3%、60代で81.8%、50代で84.6%、40代で76.3%、30代で75.6%、20代で55.4%であり、高齢者の愛着度が比較的高いのにに対し、特に20代の若者の愛着度が低い傾向となりました。

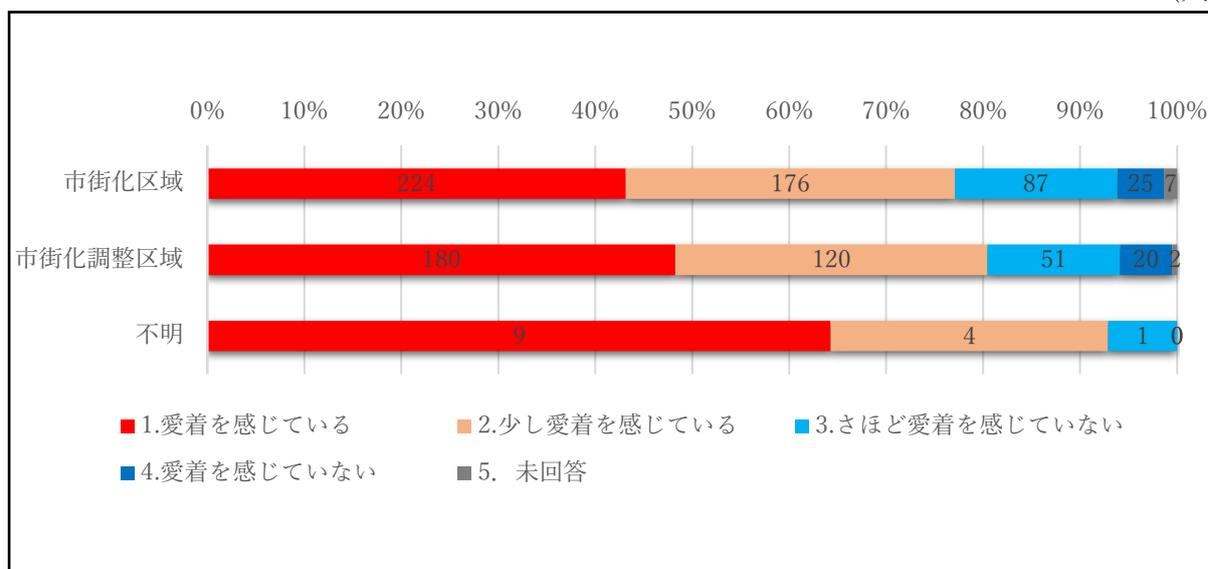
(人)



◆居住地（区域）別

「愛着を感じている」、「少し愛着を感じている」と答えた方の割合は、市街化区域が77.0%、市街化調整区域が80.4%であり、市街化区域、市街化調整区域共に約8割を占め、居住する区域間での差はほとんどありませんでした。

(人)

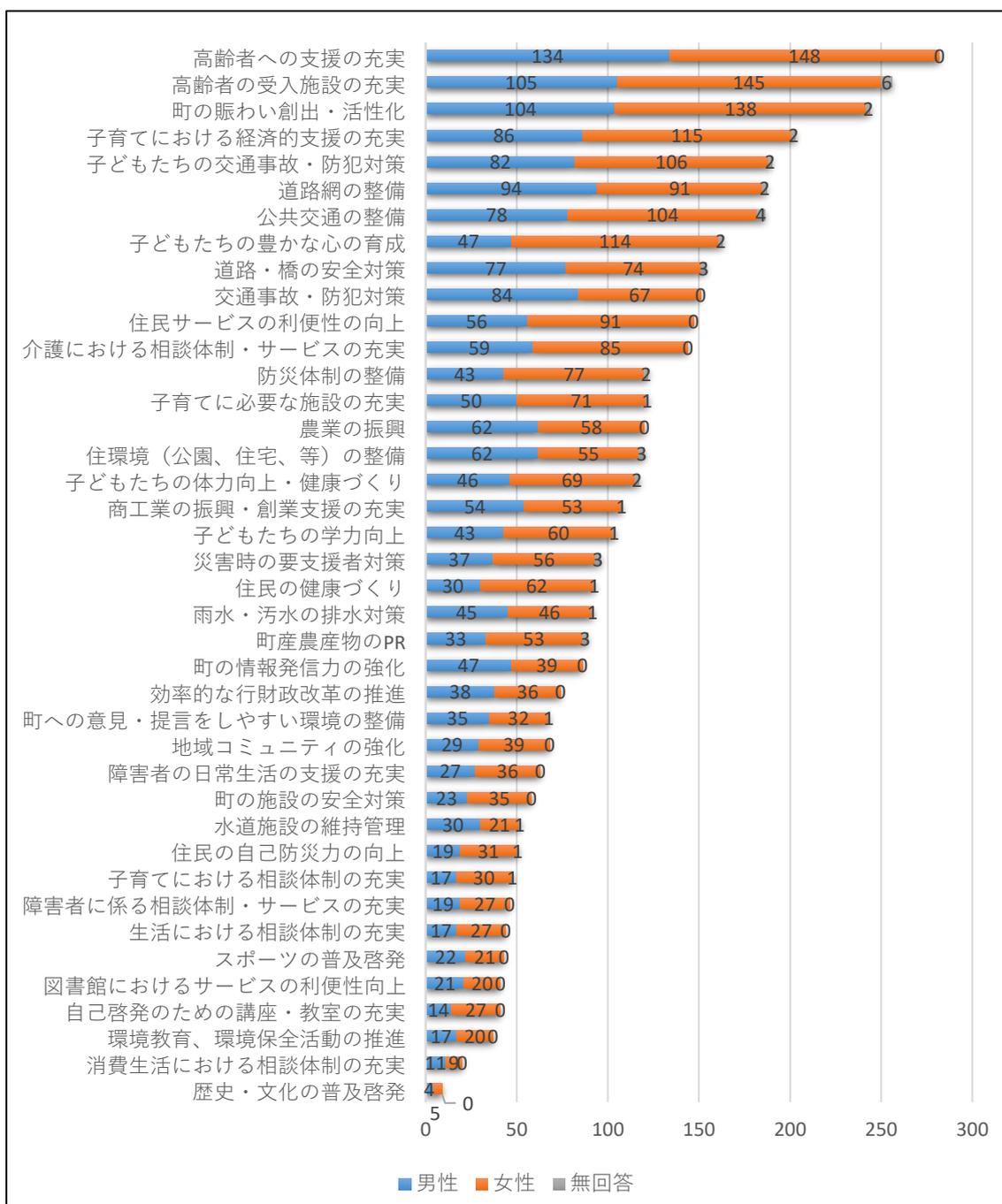


問8 町が優先して取り組むべき施策について

◆男女別

町が優先して取り組むべき施策として回答した方の男女別の割合は、上位3つの施策については、男女間で差はほとんどありませんでした。その他の施策で、男性では「交通事故・防犯対策」「農業の振興」が、女性では「子どもたちの豊かな心の育成」「防災体制の整備」がそれぞれ高い結果となりました。

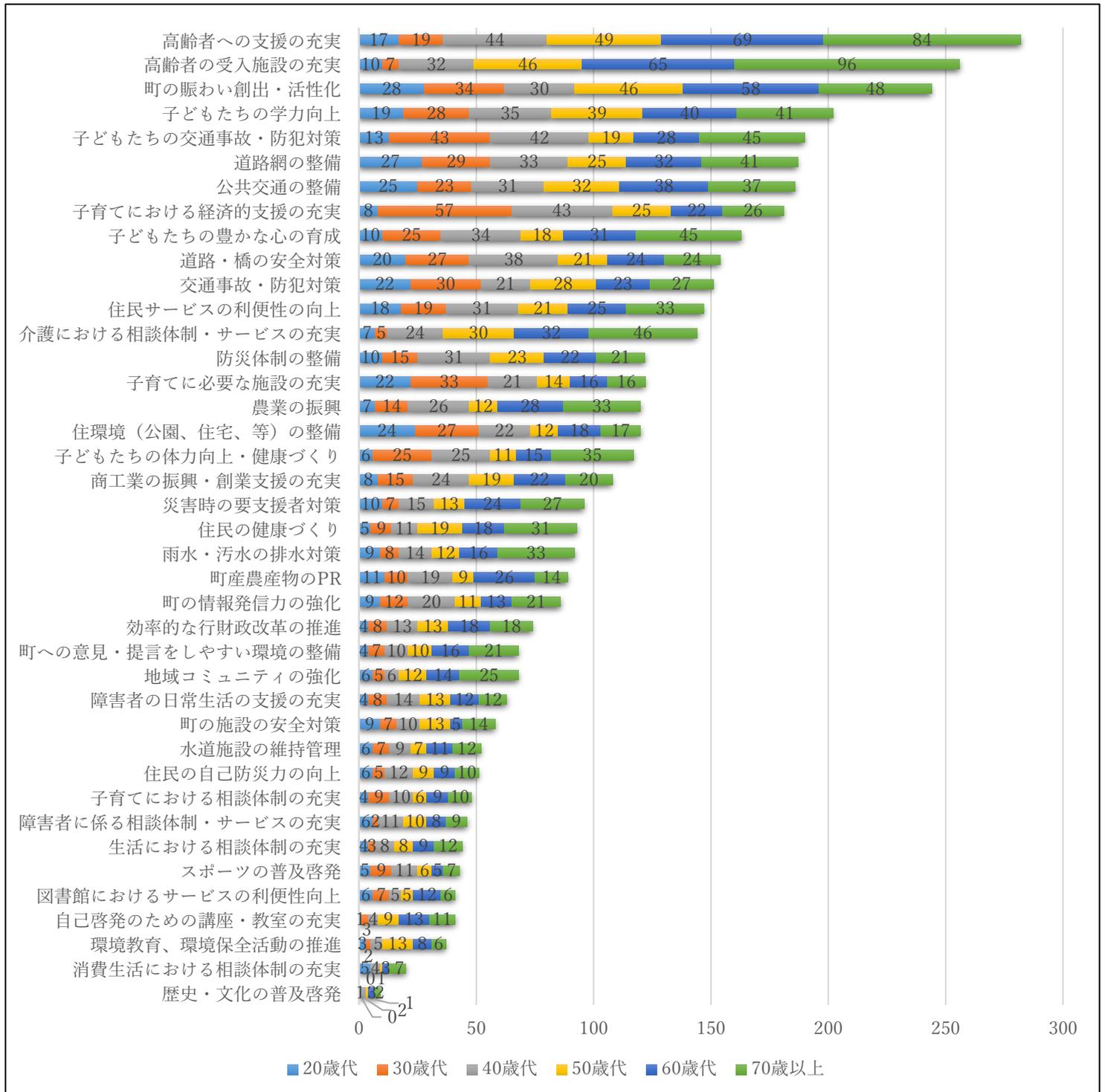
(件)



◆年齢別

町が優先して取り組むべき施策を回答した方の年齢別の割合は、20代～40代では「子どもたちの交通事故・防犯対策」、「子育てにおける経済的支援の充実」が、50代～70歳以上では「高齢者への支援の充実」、「高齢者の受入施設の充実」、「町の賑わい創出・活性化」がそれぞれ高い結果となりました。

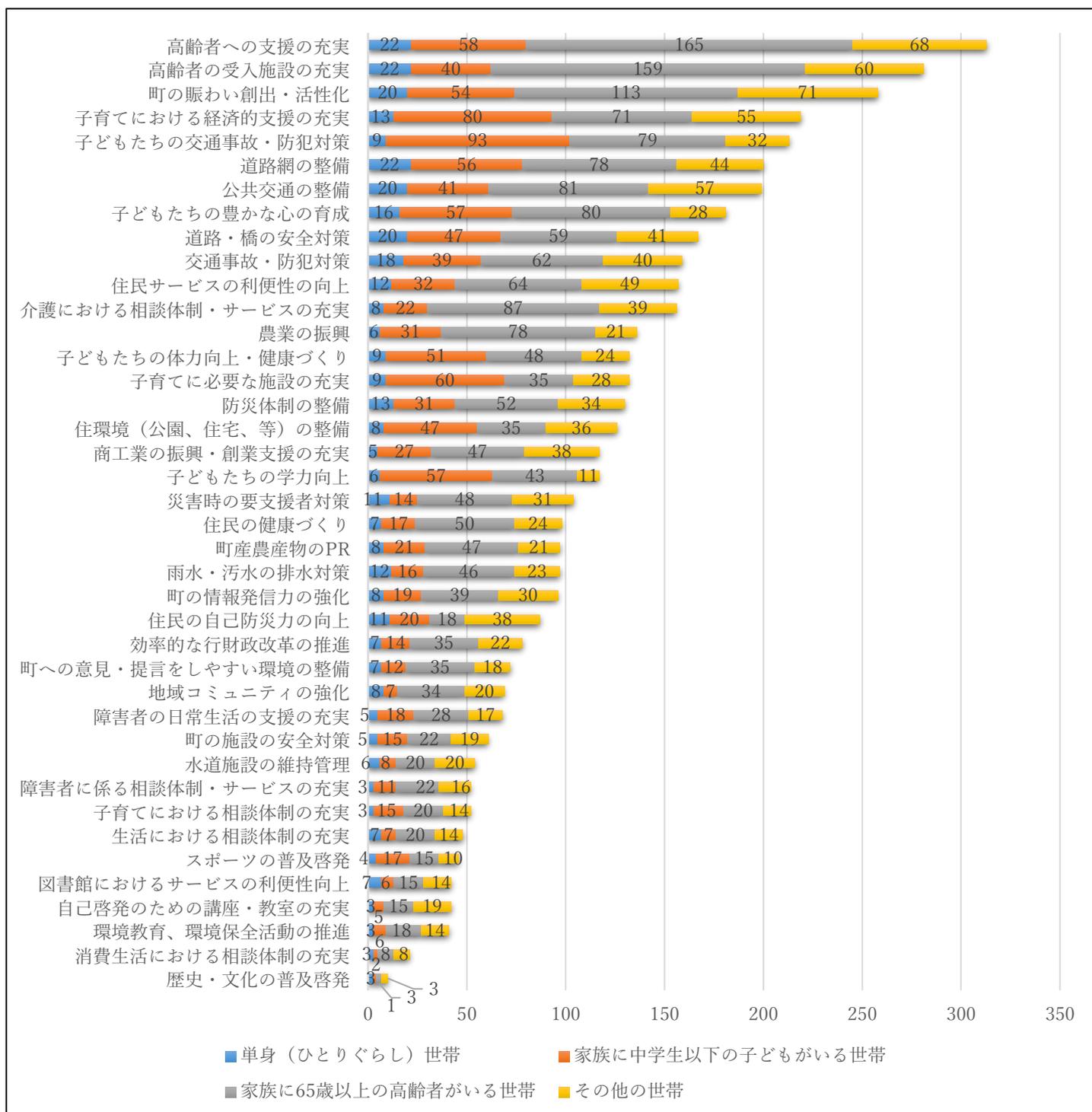
(件)



◆世帯構成別

町が優先して取り組むべき施策を回答した方の世帯構成別の割合は、単身世帯では「道路の整備や安全対策に係る施策」、中学生以下の子どもがいる世帯では「子ども・子育てに係る施策」、65歳以上の高齢者がいる世帯では「高齢者支援や農業に係る施策」が、それぞれ高い結果となりました。

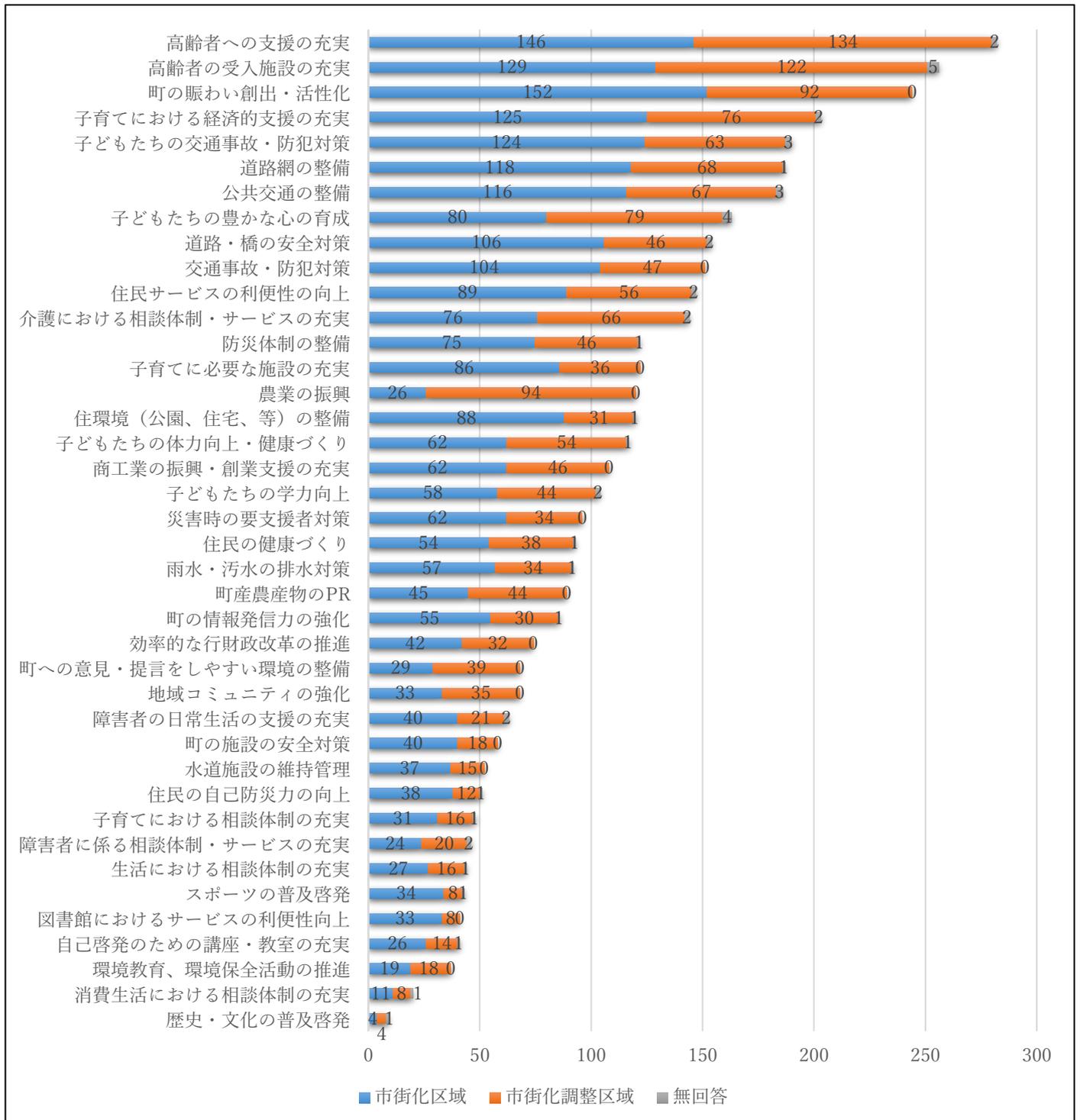
(件)



◆居住地（区域）別

町が優先して取り組むべき施策を回答した方の居住地（区域）別の割合は、市街化区域では「町の賑わい創出・活性化や住環境の整備に係る施策」が、市街化調整区域では「農業の振興や子どもたちの豊かな心の育成に係る施策」が、それぞれ高い結果となりました。

(件)



第4章 住民意識調査に対する分析

(1) 高根沢町に対する愛着

「愛着を感じている」が、45.5%、「少し愛着を感じている」が33.1%であり、平成25年度調査の49.7%と30.3%とほとんど変化していません。ただし、「愛着を感じていない」は平成25年度調査の3.8%から4.9%へ増加しています。

愛着を感じていない住民の割合は回答全体ではわずかです。しかし、20代では、「愛着を感じている」が20.6%。「少し愛着を感じている」が34.7%、「さほど愛着を感じていない」が31.5%、「愛着を感じていない」が11.9%と、愛着を感じていない割合が上昇します。平成25年度調査と比較すると、20代の評価は低下していることがうかがえます。後期計画では、引き続き若い世代の町民が、高根沢町に愛着を感じられるような取組を推進する必要があります。

◆愛着度

	令和元年度調査	平成25年度調査	比較増減
愛着を感じている	45.5%	49.7%	-4.2%
少し愛着を感じている	33.1%	30.3%	2.8%
さほど愛着を感じていない	15.3%	15.3%	—
愛着を感じていない	4.9%	3.8%	1.1%

◆20代の愛着度

20代	令和元年度調査	平成25年度調査	比較増減
愛着を感じている	20.6%	38.5%	-17.9%
少し愛着を感じている	34.7%	30.2%	4.5%
さほど愛着を感じていない	31.5%	22.9%	8.6%
愛着を感じていない	11.9%	8.3%	3.6%

(2) 分野別の実感度

4分野毎に、施策に対する実感度の平均値を算出し、分野間の実感度を比較しました。

最も実感度の高い分野は、子ども・教育・生涯学習分野の13%で、前回調査から3%増加しています。子ども・教育・生涯学習分野については、各種施策の取組みに対して、住民の実感度が高まったことがうかがえます。

一方で、最も実感度の低い分野は、町政運営・地域自治・地域安全分野の-15%で、前回調査から4%減少しています。

最上位の分野と再下位の分野の実感度は、前回調査のより7%広がっており、町政運営・地域自治・地域安全分野について、住民の実感度を高める施策展開が求められています。

◆分野別実感度

分 野	令和元年度 調査	平成 25 年度 調査	比較増減
子ども・教育・生涯学習分野	13%	10%	3%
住民生活・福祉・環境分野	3%	6%	-3%
都市整備・上下水道・産業分野	-9%	-9%	—
町政運営・地域自治・地域安全分野	-15%	-11%	-4%

(3) 優先度の高い施策

回答者が選択した「優先して取り組むべき施策」の上位 20 位は下記のとおりです。

最も優先度が高かった施策は、「高齢者への支援の充実」で 282 件、次いで「高齢者の受入施設の充実」が 256 件、「町の賑わい創出・活性化」が 244 件でした。

上位を占めているのは、高齢者に対する支援、町の活性化、子育て支援、道路・公共交通等です。高齢者に対する支援の優先度が高くなっている要因として、回答者の年齢の約 6 割が 50 歳以上であることや、世帯構成の「家族に 65 歳以上の高齢者いる世帯」が 4 割以上であることから、要望として優先度が高くなったと推測できる一方で、町民の皆さんの多くが、これらの施策の充実を望んでいることがうかがえます。

順位	施策	件数
1	高齢者への支援の充実	282
2	高齢者の受入施設の充実	256
3	町の賑わい創出・活性化	244
4	子育てにおける経済的支援の充実	203
5	子どもたちの交通事故・防犯対策	190
6	道路網の整備	187
7	公共交通の整備	186
8	子どもたちの豊かな心の育成	163
9	道路・橋の安全対策	154
10	交通事故・防犯対策	151
11	住民サービスの利便性の向上	147
12	介護における相談体制・サービスの充実	144
13	子育てに必要な施設の充実	122
14	防災体制の整備	122
15	住環境（公園、住宅、等）の整備	120
16	農業の振興	120
17	子どもたちの体力向上・健康づくり	117
18	商工業の振興・創業支援の充実	108
19	子どもたちの学力向上	104
20	災害時の要支援者対策	96

回答者が選択した「優先して取組むべき施策」の年代別の上位3位の割合は下記のとおりです。

30代以下の年代では、子育てにおける経済的支援に関する施策への優先度が高く、40代以上の年代では、高齢者支援に関する施策への優先度が高い結果となりました。住民は年代ごとの生活実態に対して、直接的な支援を望んでいることがわかります。

また、40代を除くすべての年代で、上位3位以内に町の賑わい創出・活性化が選ばれており、魅力ある町づくりへの取り組みが求められています。

◆優先度の高い施策【年代別】

20代

順位	施策	割合
1	子育てにおける経済的支援の充実	6.98%
2	町の賑わい創出・活性化	6.51%
3	道路網の整備	6.28%

30代

順位	施策	割合
1	子育てにおける経済的支援の充実	9.44%
2	子どもたちの交通事故・防犯対策	7.12%
3	町の賑わい創出・活性化	5.63%

40代

順位	施策	割合
1	高齢者への支援の充実	5.56%
2	子育てにおける経済的支援の充実	5.43%
3	子どもたちの交通事故・防犯対策	5.30%

50代

順位	施策	件数
1	高齢者への支援の充実	7.42%
2	高齢者の受入施設の充実	6.97%
3	町の賑わい創出・活性化	6.97%

60代

順位	施策	割合
1	高齢者への支援の充実	8.28%
2	高齢者の受入施設の充実	7.80%
3	町の賑わい創出・活性化	6.96%

70歳以上

順位	施策	割合
1	高齢者の受入施設の充実	9.41%
2	高齢者への支援の充実	8.24%
3	町の賑わい創出・活性化	4.71%

※ 割合：各年代における回答総数のうち当該施策の回答数の割合

回答者が選択した「優先して取り組むべき施策」のうち、居住地（区域）別の上位5位の回答比率は下記のとおりです。

市街化区域では、町の賑わい創出・活性化の割合が最も高く、市街化調整区域では、高齢者の支援の充実が最も高い結果となりました。

区域別の特徴としては、子ども子育てに関する施策について、市街化区域は経済的支援や交通・防犯対策への優先度が高く、市街化調整区域は道徳教育への優先度が高くなっています。

また、市街化調整区域では農業施策の優先度が高く、当事者である農業者の皆さんが農業振興策の充実を望んでいることがうかがえます。引き続き、後期計画において施策の充実を図る必要があります。

◆優先度の高い施策【居住地（区域）別】

市街化区域の居住者

順位	施策	割合
1	町の賑わい創出・活性化	5.93%
2	高齢者への支援の充実	5.70%
3	高齢者の受入施設の充実	5.03%
4	子育てにおける経済的支援の充実	4.88%
5	子どもたちの交通事故・防犯対策	4.84%

市街化調整区域の居住者

順位	施策	割合
1	高齢者への支援の充実	7.74%
2	高齢者の受入施設の充実	7.05%
3	農業の振興	5.43%
4	町の賑わい創出・活性化	5.31%
5	子どもたちの豊かな心の育成	4.56%

※ 割合：各居住地における回答総数のうち当該施策の回答数の割合

【問1】 あなたの性別について、該当する番号に1つ○印をお付けください。

1. 男性
2. 女性

【問2】 あなたの年齢について、該当する番号に1つ○印をお付けください。

1. 20歳代
2. 30歳代
3. 40歳代
4. 50歳代
5. 60歳代
6. 70歳以上

【問3】 あなたの世帯構成について、該当する番号に○印をお付けください。

(2. 3. の両方該当する場合は、それぞれに○印をお付けください。)

1. 単身(ひとりぐらし)世帯
2. 家族に中学生以下の子どもがいる世帯
3. 家族に65歳以上の高齢者がいる世帯
4. その他の世帯

【問4】 あなたのお住まいの区域について、該当する番号に1つ○印をお付けください。

1. 市街化区域
(※宝積寺・光陽台・宝石台・仁井田地区などで、計画的な市街化を図る区域です。)
2. 市街化調整区域
(※上記以外の地区で、市街化を抑制している区域です。)

【問5】 あなたのお住まいの学区について、該当する番号に1つ○印をお付けください。

1. 阿久津小学校区
2. 西小学校区
3. 中央小学校区
4. 北小学校区
5. 東小学校区
6. 上高根沢小学校区

【問6】 あなたは、高根沢町を「自分のまち」として愛着を感じていますか？
該当する番号に1つ○印をお付けください。

1. 愛着を感じている
2. すこし愛着を感じている
3. さほど愛着を感じていない
4. 愛着を感じていない

【問7】 現在、あなたが感じている「実感度」について、下記の各項目の該当する番号に1つ〇印をお付けください。

(1) 子ども・教育・生涯学習分野

No	項 目	実感度		
		「そう感じている」	「そう感じていない」	「わからない」
1	子育てをするうえで、児童館や保育園などの施設が利用しやすい、と感じていますか。	1	2	3
	◆前期計画における、町の主な取組内容			
2	子育てをするうえで、悩みごとが相談できる環境が整っている、と感じていますか。	1	2	3
	◆「Niko♥ Niko 子育て相談室」の開設(平成 30年)、等			
3	子育てをするうえで、経済的支援が充実している、と感じていますか。	1	2	3
	◆こども医療費無償化(18歳まで)、保育料無償化、等			
4	子どもたちは、学力が向上している、と感じていますか。	1	2	3
	◆外国人教師の配置、小中一貫教育、等			
5	子どもたちは、のびのびと育っている、と感じていますか。	1	2	3
	◆「夢の教室」、中学生マイチャレンジ事業、等			
6	子どもたちは、元気に健康的な生活をしている、と感じていますか。	1	2	3
	◆運動能力向上「BOKS プログラム」実施、食育・地産地消の推進、等			
7	子どもたちが、交通事故や犯罪に巻き込まれない環境が整っている、と感じていますか。	1	2	3
	◆通学路カラー舗装整備、学校への防犯カメラ設置、等			

		実感度		
		「そう感じている」	「そう感じていない」	「わからない」
8	子どもから大人まで、自己啓発や趣味の講座や教室が充実している、と感じていますか。	1	2	3
	◆「いきいき教室」、「みんなの学び場」の開催、等			
9	町の歴史や、文化・芸能に触れる機会が充実している、と感じていますか。	1	2	3
	◆文化・芸能事業（町民ホール）、歴史民俗資料館企画展、等			
10	町図書館の蔵書が充実している、と感じていますか。	1	2	3
	◆町民1人あたりの貸出件数県内第1位（平成29年度実績）、等			
11	スポーツに親しむ機会が充実している、と感じていますか。	1	2	3
	◆各種スポーツ教室・元気あっぷハーフマラソン大会の開催、等			
12	公共施設（学校、町民体育館、等）が、安全で安心して利用できる、と感じていますか。	1	2	3
	◆施設の修繕・改修、小中学校エアコン導入、等			

(2) 住民生活・福祉・環境分野

13	証明書の発行や納税方法等、住民サービスの利便性が向上している、と感じていますか。	1	2	3
	◆証明書のコンビニ交付、等			
14	高齢者やその家族への支援が充実している、と感じていますか。	1	2	3
	◆生活支援サポーターの養成、等			
15	介護を必要とする高齢者のための施設が整備されている、と感じていますか。	1	2	3
	◆特別養護老人ホームの整備推進、等			

		実感度		
		「そう感じている」	「そう感じていない」	「わからない」
16	介護に関する相談窓口やサービスが充実している、と感じていますか。 ◆介護予防ケアマネジメント事業、訪問・通所型サービス、等	1	2	3
17	障がい者やその家族への支援が充実している、と感じていますか。 ◆障がい者地域生活相談支援事業、等	1	2	3
18	障がい者が自立した日常生活を送るために、必要な支援が充実している、と感じていますか。 ◆障がい者就労支援事業、障がい者優先調達推進事業、等	1	2	3
19	災害時に、支援を必要とする方が、安全を確保できる環境が整っている、と感じていますか。 ◆要援護者台帳・福祉避難所の整備、等	1	2	3
20	生活の中で困ったことがあるとき、相談窓口が充実している、と感じていますか。 ◆DV 被害者対策、「こころの健康相談」開催、等	1	2	3
21	食生活や生活習慣病予防、健康診断等、健康づくりの環境が整っている、と感じていますか。 ◆健康診断の受診啓発、管理栄養士による食事指導、等	1	2	3
22	ごみの分別や環境教育等、地球環境に配慮した取組が進んでいる、と感じていますか。 ◆プラスチック容器回収、環境学習の推進(エコハウスたかねざわ)、等	1	2	3

(3) 都市整備・上下水道・産業分野

23	町に住むための環境(公園・住宅等)が整っている、と感じていますか。 ◆公園施設の維持管理、区画整理事業、等	1	2	3
----	--	---	---	---

		実感度		
		「そう感じている」	「そう感じていない」	「わからない」
24	必要な道路網が整備されている、と感じていますか。	1	2	3
	◆道路網整備計画に基づく道路整備、等			
25	道路・橋の安全性が確保されている、と感じていますか。	1	2	3
	◆道路の修繕・維持管理、橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋の修繕、等			
26	安定的に安心して、水道が使える、と感じていますか。	1	2	3
	◆浄水場・配水池の更新・耐震化、等			
27	雨水や汚水の排水が十分にできている、と感じていますか。	1	2	3
	◆公共下水道の整備、浄化槽設置推進、等			
28	農業所得の向上、後継者の確保等、農業が発展できる環境が整っている、と感じていますか。	1	2	3
	◆新規就農者支援、担い手への農地集積、等			
29	町産農産物を食べたり、知る機会が増えている、と感じていますか。	1	2	3
	◆高根沢町ローカルグルメの開発、農業体験ツアーの開催、等			
30	商店や企業等、町の商工業に活気がある、と感じていますか。	1	2	3
	◆創業支援事業、企業誘致、等			
31	町外からの来町者が増え、町が賑わっている、と感じていますか。	1	2	3
	◆「高根沢ロックサイドマーケット」の開催、元気あっぷむらのリニューアル、等			
32	多様化する消費生活に対応した、相談窓口やサービスが充実している、と感じていますか。	1	2	3
	◆消費生活センターの開設、消費者団体の支援、等			

(4) 町政運営・地域自治・地域安全分野		実感度		
		「そう感じている」	「そう感じていない」	「わからない」
33	町には、万が一に備えた防災体制が整備されている、と感じていますか。	1	2	3
	◆避難所・備蓄品の整備、消防団活動の推進、等			
34	住民の皆さんが、災害に備えるにあたり、町の側面的な支援が充実している、と感じていますか。	1	2	3
	◆地震・洪水ハザードマップの更新、防災訓練の実施、自主防災組織の育成、等			
35	犯罪や、交通事故が減っている、と感じていますか。	1	2	3
	◆自主防犯組織の活動支援、高齢者の運転免許証自主返納促進、等			
36	公共交通(電車、バス等)の利便性が向上している、と感じていますか。	1	2	3
	◆デマンド交通の運行、等			
37	町は、効率的な行財政改革を行っている、と感じていますか。	1	2	3
	◆公共施設の適正管理(指定管理者制度の導入)、人事評価制度を活用した組織運営、等			
38	地域や各種団体に活気があり、地域コミュニティが強化されている、と感じていますか。	1	2	3
	◆自治会活動の支援、集会施設整備、等			
39	町からの情報がわかりやすい、と感じていますか。	1	2	3
	◆「広報たかねざわ」の発刊、ホームページの運用、等			
40	町への意見・提言をしやすい、と感じていますか。	1	2	3
	◆公聴事業、ホームページ「ご意見板」、等			

【問8】 今後5年間で、町が特に優先して取り組むべきと思う項目について、下記から**5つ選び、該当する番号に○印**をお付けください。

- 1 子育てに必要な施設の充実
- 2 子育てにおける相談体制の充実
- 3 子育てにおける経済的支援の充実
- 4 子どもたちの学力向上
- 5 子どもたちの豊かな心の育成
- 6 子どもたちの体力向上・健康づくり
- 7 子どもたちの交通事故・防犯対策
- 8 自己啓発のための講座・教室の充実
- 9 歴史・文化の普及啓発
- 10 図書館におけるサービスの充実
- 11 スポーツの普及啓発
- 12 町の施設の安全対策
- 13 住民サービスの利便性の向上
- 14 高齢者への支援の充実
- 15 高齢者の受入施設の充実
- 16 介護における相談体制・サービスの充実
- 17 障がい者に係る相談体制・サービスの充実
- 18 障がい者の日常生活の支援の充実
- 19 災害時の要支援者対策
- 20 生活における相談体制の充実
- 21 住民の健康づくり
- 22 環境教育、環境保全活動の推進
- 23 住環境(公園、住宅、等)の整備
- 24 道路網の整備
- 25 道路・橋の安全対策
- 26 水道施設の維持管理
- 27 雨水・汚水の排水対策
- 28 農業の振興
- 29 町産農産物のPR
- 30 商工業の振興・創業支援の充実
- 31 町の賑わい創出・活性化
- 32 消費生活における相談体制の充実
- 33 防災体制の整備
- 34 住民の自己防災力の向上
- 35 交通事故・防犯対策
- 36 公共交通の整備
- 37 効率的な行財政改革の推進
- 38 地域コミュニティの強化
- 39 町の情報発信力の強化
- 40 町への意見・提言をしやすい環境の整備

【問9】 これからのまちづくりに関して、ご提案などございましたら、下記回答欄に**自由にご記入**ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。